

授業科目名	教育の法制と経営 A, B	担当形態	単独		
		開講学期	春・秋		
担当教員	坂野 愛実	単位	2	年次	2
教職免許					
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					

※教員免許状取得のための授業科目は、ブルーの項目についても記載があります。

### ＝授業のテーマ及び到達目標＝

(1) 教育法制によりいかに個々人の成長発達が保障され、また公教育の実態として指摘される問題を理解できるようになること。(2) 教育法制をより深く考察するために必要な情報を収集する方法とその活用の仕方を身につけること。(3) (1)(2)を踏まえ、自分の考えをまとめ、提示できるようになること。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

授業なかではグループワークを通じて互いの考えや思いを話し合う時間を設定し、また、各回の授業の終わりにはリアクションペーパーを書いてもらいます。知ることとともに、それに対して自分が感じたこと、考えたことを大切にしてほしいと思います。

### ＝授業の概要＝

本授業は、教育法制によっていかに個々人の成長発達が保障されるのか、ということ公教育の実態から指摘されている問題を通して理解するとともにグループワークやリアクションペーパーより自分の考えをさらに深めていけるような内容となっています。

具体的に扱うテーマは下記の授業計画に示されている通りですが、各授業の流れおよびつながりとして、はじめに権利保障の根拠を日本国憲法と教育基本法で確認しながら、それが下位法においていかに具体化されているのか、またそれによる日本の教育実態が国際法および各国の教育実態と比較してどのように位置づけられるのかをテーマごとにみていくものとなっています。

### ＝授業計画＝

- 1回 インTRODクション － 「教育を受ける権利」の社会権的側面と自由権的側面
- 2回 子どもの権利 － 子どもが抱える困難にどのように向きかうか
- 3回 教育の法と制度（1）－ 教育法のしくみと学習指導要領の性格
- 4回 教育の法と制度（2）－ 学校における教育内容の豊かさを求めて
- 5回 日本国憲法と教育基本法 － 教育制度の歴史的転換と2006年教育基本法の特徴
- 6回 教育の目的と目標 － 新教育基本法とどのように向き合うか
- 7回 中間まとめ － 小レポートに向けた課題設定
- 8回 学校の制度 － 法律に定められている学校とそれ以外の教育施設
- 9回 義務教育の制度 － すべての子どもの学びが保障される義務教育へ
- 10回 教育の機会均等（1）－ 義務教育段階の就学保障制度
- 11回 教育の機会均等（2）－ あらゆる人の学びが保障されるために
- 12回 教職員の制度 － 教育の自由と教師の教育権
- 13回 教育行政の制度 － 現行制度と地方教育行政の努力
- 14回 保育制度 － 保育所と幼稚園
- 15回 まとめ － 教育法制が有する二面性を再び考える

## **=テキスト（必携）=**

なし

## **=参考書・参考資料（必携）=**

各授業では、授業の内容をまとめたプリントおよびそれに関連する資料をまとめたプリントを配布します。両プリントにおいて参考文献・資料をその都度、提示していきます。

## **=成績評価の方法と評価の基準=**

学期末試験 60%、小レポート 25%、平常点 15%。

小レポートに関して、授業内容のまとめとそれに対する自分の意見を書いた 2000 字程度のレポートを提出してもらいます。学期末試験に関しては、記述式の問題として知識を問うものおよび与えられたテーマに対して自分の考えを書く問題を予定しています。平常点は、学修態度として主にリアクションペーパーにおいて各時間の学習課題と内容を把握できているか、また、それに対する自分の考えをわかりやすくまとめることができているかを確認します。

## **=その他=**

なし